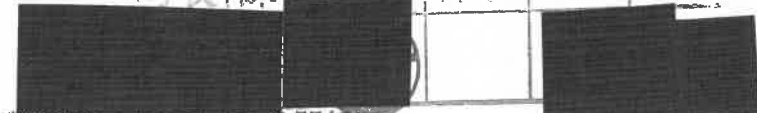


供 覧 ・ 決 裁

市長 副市長 議員 議員 議員



様式第2号 (第3条関係)



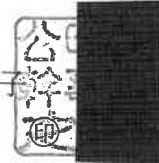
令和3年11月25日

丹波篠山市議会議員 様

会 派 名 公明党

代表者名 園田 依子

又は会派無所属議員の氏名



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

- 1. 活 動 の 種 類 : 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他 ()
- 2. 活 動 期 間 : 令和3年11月18日 (木) 13時30分~15時
- 3. 場 所 : 養父市市役所 養父地域局
- 4. 活 動 者 : 園田 依子、隅田 雅春
- 5. 活 動 の 概 要 : マイナンバーカード普及施策の調査
- 6. 考 察 : 別紙参照
- 7. 活動に要した費用 :

費目	詳細	金額	備考
視察調査費	交通費	5,104	丹波篠山市役所~養父市役所(養父地域局)~丹波篠山市役所(車賃)63.8km×2×40円
	高速代	640	遠坂トンネル@320×2
	その他	2,580	手土産代

株式会社 諏訪園 イノタ
 丹波篠山市杉字三反町16
 TEL 079-594-2226
 FAX 079-594-3336

※封筒等には必ずで保管票を貼付してください。
 印刷面を内側に折り保管をお願いします。

領収書
 様
 金額 ¥2,580-
 但し、
 10/25/21

2021年11月18日
 No.00001-6580-7512
 消費税 190円を含む
 (内税 190円)
 支払内訳
 現金 ¥2,580
 (内消費税等 ¥190)
 として上記正に領収いたしました。

(内税8%対象額 ¥2,550 内税額 8% ¥188)
 (内税10%対象額 ¥30 内税額 10% ¥2)

取扱番号 2021-01-00

取扱番号 2588-06-00

ご利用ありがとうございます。
 兵庫県道路公社
 料金所では一旦停車してください。
 料金所 遠阪トンネル
 TEL 079-676-4055
 21年11月18日 16時30分
 車種 普通
 通行料金 ¥320-
 (現金)
 通行料金は消費税率10%対象です

ご利用ありがとうございます。
 兵庫県道路公社
 料金所では一旦停車してください。
 料金所 遠阪トンネル
 TEL 079-676-4055
 21年11月18日 14時12分
 車種 普通
 通行料金 ¥320-
 (現金)
 通行料金は消費税率10%対象です

Google 丹波篠山市役所 から 〒667-0101 兵庫県養父市広谷 2 5 0 - 1 車 63.8 km、1 時間 11 分



地図データ ©2021 Google 20 km

丹波篠山市役所

〒669-2332 兵庫県丹波篠山市北新町41

県道77号と国道176号から丹波市氷上町市辺の北近畿豊岡自動車道/国道483号に入る

34分 (22.0 km)

- ↑ 1. 南に進む
29 m
- 2. 右折する
500 m
- ↑ 3. 直進する
39 m
- 4. 右折する
46 m
- ↶ 5. 左折する
650 m
- 6. 東岡屋 (交差点) を右折して 県道77号 に入る
4.4 km
- 7. 大山下 (交差点) を右折して 国道176号 に入る (柏原 の表示)
11.4 km
- ↶ 8. 柏原北 (交差点) を左折してそのまま 国道176号 を進む (丹波年輪の里/丹波警察署 の表示)
3.2 km

政務活動調査研究報告書

報告者	公明党（園田依子、隅田雅春）
日時	令和3年11月18日（木）
調査研究名	マイナンバーカード普及施策の調査
開催場所	養父市役所養父地域局 養父市広谷250-1
内容	<p>会派公明党は11月18日、マイナカード交付率県下1位の養父市の調査で、養父地域局にマイナンバーカード担当リーダーを訪問し話を伺いました。昨年来、養父市はマイナカードの交付率向上に取り組んでこられました。12月時点で三田市の後塵を拝していました。これではいけないと養父市長は、職員Aを担当リーダーに命じ、県下の交付率を目指されました。</p> <p>広報紙には、令和3年度から毎月マイナンバーカードの記事を掲載、また有線放送を利用し、毎日広報、周知活動を行っておられます。</p> <p>4月末日でマイナンバーカードを取得すると、5,000ポイント付与されるインセンティブ期限が切れるのを見越し、市独自に2,000円クーポンを5月から申請者に配られる制度を実施されています。</p> <p>また、コンビニでの証明書交付では、カード所有者は半額の150円で申請書類を交付できるように、インセンティブ施策を導入し、更なる普及率の向上を目指されていました。</p> <p>3人以上の申請者があれば出前交付を実施されていましたが、現在は1人の申請者があれば自宅まで交付出張されています。</p> <p>こうした努力の結果、交付率が67.23%となり、今年10月には県下1位、全国市区町村で6位の交付率となっています。</p> <p>また、市長から市民生活部に市長賞が贈られ、職員の功績についても評価がなされていました。</p>
考察	<p>1、普及への市長の強い思いがある。</p> <p>2、市の職員がマイナンバーカード普及の責務を認識している。</p> <p>3、マイナンバー取得に不安を抱く市民に対し、出張や広報等で広く情報提供を行い、市民に寄り添ながら事業展開している。</p> <p>4、マイナンバー取得にメリットを感じさせる施策の導入。</p> <p>などが養父市の特徴でした。</p> <p>当市は、先ず職員がマイナンバーカード導入の必要性を認識できるような情報提供、また、その上で市民が申請したくなる施策の導入が必要であると感じました。デジタル化社会への対応の遅れが指摘される中、本市においても迅速な取り組みが必要です。</p>